

雪氷写真館③ 地吹雪による視程障害と観測



写真 1. 札幌市郊外の国道での地吹雪による視程障害の様子.
(提供：北海道開発土木研究所)



写真 2. 地吹雪の調査をしている移動気象観測車.

地吹雪による視程障害と観測

中心市街地からわずか 10 km 足らずしか離れていない札幌市郊外の一般国道 275 号江別市角山において地吹雪による視程障害の様子を撮影したものです。道路風上側（写真左手）には平坦地が広がっていて、発達した地吹雪が激しく吹き込んでいる様子がよくわかります。あまり降雪は強くないため、目線より上の高さでは遠くの樹木や矢羽根を見ることができますが、前を走る乗用車はすっぽりと地吹雪に隠されてほとんど見えなくなっています。対向車のライトもようやく見える程度です。

なお、この場所では、この写真の撮影日のちょうど 1 週間前に車両 13 台が関係する多重衝突事故が発生したばかりです。この多重衝突事故は前方の乗用車に後続のトラックが追突したことをきっかけとしたもので、この写真のような地吹雪による視程障害が関係していたものと推察できます。

丹治 和博（(財)日本気象協会 北海道支社）

積雪寒冷地域において冬期間に発生する地吹雪は、視程障害や吹きだまりを生じるため道路交通にとって大きな問題となっています。

移動気象観測車は車両に気象観測機器、視程計、路面温度計、デジタルビデオカメラを搭載しているため機動性が高く、視程障害発生時や路面凍結時に観測できるほか、走行しながらデータを収集するため、特異な気象状況を広範囲に渡って効率的に観測できます。

観測データは、防雪対策施設を設置する場所の見極めや除雪の重点箇所の検討に使用されており、安全で快適なみちづくりに有効に活用されています。

川島 由載（株式会社ドーコン）